

令和3年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費(省エネルギー等国際標準開発(国際標準分野))個別テーマ等一覧

| 番号 | テーマ名 | 事業概要 | 事業期間 (年) | 初年度上限 (千円・税込) |
|----|--|---|-------------|------------------|
| 1 | 建築一体型太陽光発電に関する国際標準化 | 本事業では屋内窓面設置型太陽電池の設計基準、融雪型太陽電池モジュールに対する設計安全性規格、BIPVモジュールの意匠性の耐候性評価方法、垂直設置モジュールの発電量推定方法などの国際標準化を行う。 | 3 | 20,000 |
| 2 | 固体酸化物形燃料電池セル用セラミックス材料の弾性率試験方法と構造評価法に関する国際標準化 | 固体酸化物形燃料電池(Solid Oxide Fuel Cell:SOFC)は、日本が世界に先駆けて製品化を行った技術であり、高い発電効率と高品位な排熱利用で家庭用コージェネレーションシステムや発電用として現在市場への導入が始まっているが、心臓部である発電部品(セラミックス積層構造体セル)の耐久性等に課題がある。本事業では、積層構造体セルの構造評価方法、微小部力学特性評価方法を開発し、国際標準化を行う。 | 3 | 30,000 |
| 3 | GaNウエハのXRC測定方法に関する国際標準化 | 次世代パワー半導体であるGaNがもたらす超高効率の省エネ効果は2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略の実現に不可欠である。しかし、次世代パワー半導体にGaN基板を適用するには欠陥密度の正確な測定が必要であるが、従来のXRC測定方法では正確な測定ができない。そのため本事業では測定方法の国際標準化に向けたフィージビリティスタディを行う。 | 1 | 3,000 |
| 4 | 電動車用蓄電池及び充電に関する国際標準化 | 本事業では電池リユース品質マネジメントシステム/電池リユース要件/全固体LIBの試験要件/液体系LIBセル性能・安全性要件/同電池パック要件/DCコンダクティブ充電関連要件/非接触給電関連要件など、電動車の蓄電池並びに充電についての各種国際標準化を行う。 | 3 | 80,044 |